

## 別紙様式 4

## 病院整備計画の概要書【地域医療構想調整会議用】

## 1 医療機関の名称・所在地・所在二次保健医療圏

人間ハート病院 埼玉県人間市小谷田 1 2 5 8 - 1 西部保健医療圏

## 2 開設者の名称・所在地（個人開設の場合、所在地は市町村名を記載）

医療法人永仁会 理事長 石田 二郎 埼玉県人間市小谷田 1 2 5 8 - 1

## 3 医療機関の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
急性期	一般病床	11	11	0
回復期	一般病床	12	12	0
計		23	23	0

病床利用率（平均）

一般病床	療養病床	地域包括ケア病床	回復期リハビリテーション病床
97.0%		79.5%	

## 病院整備計画申出者（法人名） 医療法人永仁会（入間ハート病院）

## 4 開設等の目的、整備方針、必要性、地域医療構想調整会議の議論との整合性

当病院は、急性期機能の病床（急性期一般入院料6）11床、回復期機能の病床（地域包括ケア入院医療管理料1）12床の病床数合計23床の病院として運営しています。コロナウイルス感染患者の入院受入れや外来・透析等かかりつけ患者の緊急入院に対応するため一部急性期機能も有していますが、入院患者の内、急性期病院で急性期治療を終え在宅復帰を目指す患者や老健・特養等で病状悪化した入所者が多くを占めており、地域のポストアキュート・サブアキュートの役割を担う病院として運営しております。

最近では、近隣地域の病院・介護関係施設からの入院要請が増加しており、満床状態の日が年間40日発生するなど、病床数不足により当該入院要請に対応できないケースが頻発しています。

令和6年診療報酬改定・介護報酬改定でも求めている医療・介護の連携強化の動きもあり、最近では近隣地域の老健・特養等から連携強化の要請が多く寄せられています。更には、西部保健医療圏内の老健は18施設、特養は41施設、介護医療院は4施設が運営されており、サブアキュートの役割を担う当院にあっては、それらの施設との連携強化にも積極的に取り組むことが地域のニーズと考えています。連携強化した施設からの入院要請に応えるには現在の病床数では不足します。

地域医療構想調整会議では、「急性期病院の視点から回復期病床が増えると転院がスムーズになる。」との意見が寄せられました。当院が運営する地域包括ケア病床は、リハビリ機能も有し対象患者の制限がなく、まさに前記意見に対応できる病床として運営しています。そして、それらの患者を受け入れるためにも回復期機能を有する地域包括ケア病床の増床を必要としています。

以上の地域ニーズに応えるべく、回復期機能の病床として地域包括ケア病床の増床について計画しました。

## 5 開設等の計画の具体的内容

## (1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 10 床

病床機能区分*1	医療機能*2	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
回復期	在宅医療	一般	地域包括ケア入院医療管理料1	10
計	—	—	—	10

\*1 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれかの病床機能を記載

## 病院整備計画申出者（法人名） 医療法人永仁会（入間ハート病院）

\*2 がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、災害時医療、周産期医療、小児医療、感染症医療、在宅医療など整備する病床が担う医療機能を記載

## (2) 整備する病床数の根拠

## ① 病床数の考え方

満床状態により入院不可となった患者数：40人×30日（想定平均在院日数）÷365日＝3.3人/日

介護関係施設との連携強化（協力医療機関）による入院患者増：新たに連携強化する施設12施設×1施設当たりから入院受入する年間患者数6人×30日（想定平均在院日数）÷365＝5.9人/日

（3.3人/日＋5.9人/日）÷9割稼働＝10.2床（10床の増床を必要とする根拠）

○上記患者の内院内15% 院外85%

○増床を希望する地域包括ケア病床で定義する4つの医療機能について

## ① ポストアキュート

近隣地域の急性期病院から急性期治療を終えたがリハビリの必要性などから、入院治療の継続が必要な患者を多く受け入れている実績があり、医師をはじめ専従の理学療法士や管理栄養士等多職種により身体機能の回復を目指す機能を有している。

## ② 在宅等緊急受入機能

コロナウイルス感染患者も含め在宅や施設からの緊急入院受入実績があり、急性期一般入院料1を算定する病床を11床有することから、ある程度重篤な患者にも対応でききる機能を有している。

## ③ 在宅等予定受入機能

在宅や施設から多くの予定入院受入実績があり、在宅とは付属の訪問看護ステーションと連携し、施設とは病院のMSWにより、緊密な情報共有で在宅や施設での療養が困難な患者を重篤にならない内に早期に入院受入し、在宅等復帰させる機能を有している。

## ④ 在宅復帰支援機能

現在地域包括ケア入院医療管理料1を算定しており、当該管理料の施設基準である在宅等に退院するものの割合7割2分5厘を常に満たしており（9月実績90.1%）、多職種で在宅復帰を目指す機能を有している。

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人永仁会（入間ハート病院）

仮に承認病床数が整備（希望）計画病床数を下回る場合の意向（いずれかを囲んでください。）

計画申出を取り下げる ・ 計画変更して整備を行う  
 （   8   床以上であれば整備を行う）

**【病床数の考え方】**  
 既存 206 号室（2 床室）を 4 床に増床、改修工事にて 217 号室（4 床）、218 号室（2 床）、220 号室（2 床）を新設し 10 床の増床を予定しております。希望病床数を下回る場合は、病棟構造上 220 号室がナースステーションより離れているため病床運用ではなく別運用を検討し、ナースステーションより見渡せる 8 床分の増床を希望します。

②-1 増床する病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2 F 病棟 (増床する地域包括ケア病床の現況)	12 床	回復期	13.4 日	79.5%
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一般</span> / 療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア入院医療管理料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期		
	一般 / 療養	入院基本料・特定入院料		
<b>診療科</b> 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科、消化器外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科				
<b>患者の受入見込み</b> （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
<b>【増床前】</b>		<b>【増床後】</b>		
自院から年間 227 人（53.4%）		自院から年間 240 人（44.4%）		

## 病院整備計画申出者（法人名） 医療法人永仁会（入間ハート病院）

<p>埼玉石心会病院から年間20人（4.7%）          所沢美原総合病院から年間11人（2.6%）          他病院及び大学病院から年間16人（3.8%）          併設老健から年間83人（19.5%）          同法人特養から年間48人（11.3%）          同法人訪問看護から年間15人（3.5%）          他介護施設から年間5人（1.2%）</p> <p>（再掲）自施設透析患者から年間20人</p>	<p>埼玉石心会病院から年間30人（5.6%）          所沢美原総合病院から年間20人（3.7%）          他病院及び大学病院から年間30人（5.6%）          併設老健から年間85人（15.7%）          同法人特養から年間50人（9.3%）          同法人訪問看護から年間15人（2.8%）          他介護施設から年間70人（13.0%）</p> <p>（再掲）自施設透析患者から年間30人</p>
<p>医療（介護）連携見込み          （※具体的に記入してください。）</p>	
<p>【増床前】</p> <p>○紹介元：埼玉石心会病院、所沢美原総合病院、防衛科大学校病院、埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、介護老人保健施設ケアセンターなごみ、介護老人保健施設ゆりの木、入間老人ホーム等</p> <p>○紹介先：埼玉石心会病院、所沢美原総合病院、防衛科大学校病院、埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、明生リハビリテーション病院、西武入間病院、所沢緑ヶ丘病院、飯能老年病センター、富家病院、介護老人保健施設ケアセンターなごみ、介護老人保健施設ゆりの木、入間老人ホーム等</p>	<p>【増床後】</p> <p>○紹介元：埼玉石心会病院、所沢美原総合病院、防衛科大学校病院、埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、介護老人保健施設ケアセンターなごみ、介護老人保健施設ゆりの木、入間老人ホーム、聖愛園、杏樹苑、杏樹苑爽風館、入間つつじ園、鍵山苑、けやき野の森等</p> <p>○紹介先：埼玉石心会病院、所沢美原総合病院、防衛科大学校病院、埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、明生リハビリテーション病院、西武入間病院、所沢緑ヶ丘病院、飯能老年病センター、富家病院、介護老人保健施設ケアセンターなごみ、介護老人保健施設ゆりの木、入間老人ホーム、聖愛園、杏樹苑、杏樹苑爽風館、入間つつじ園、鍵山苑、けやき野の森等</p>

## 病院整備計画申出者（法人名） 医療法人永仁会（入間ハート病院）

## ②-2 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2 F 病棟	11 床	急性期	14.5 日	97.0 %
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 6	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2 F 病棟	12 床	回復期	13.4 日	79.5 %
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア入院医療管理料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
<b>診療科</b> 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科、消化器外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科				
<b>診療実績</b> （※整備する病床に関連する実績を記載してください） ○地域包括ケア 年間入院数 251 件、年間退院数 248 件 ○在宅復帰率 90.1 % ○自宅からの緊急入院率 46.6 % ○重症度、医療・看護必要度 23.5 % ○心大血管リハ 年間 492 件				

## 病院整備計画申出者（法人名） 医療法人永仁会（入間ハート病院）

## ③ 医療（介護）連携における課題・問題点と対応

満床により、転院依頼や介護施設等からの入院をお断りするケースが多くある状況です。地域医療を強化するには増床により受け入れることができる病床数が必要不可欠です。近隣の介護施設からは『協力医療機関はあるが、入院の受け入れに苦慮している。』との声があります。これらの問題は増床により解決できるものであります。また、退院支援については、当法人の介護施設（老健、特養）と連携しながら紹介元の介護施設へ戻れるように対応しています。

今後も医療対応レベルを向上させていく取り組みが必要であると考え、より質の高い医療介護連携体制を構築していく。

## (3) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況	備考
取得済	706.98 m <sup>2</sup>		所有・借地	小谷田1258-1
仮契約済	m <sup>2</sup>		所有・借地	
取得予定	m <sup>2</sup>		所有・借地	
計	m <sup>2</sup>			
取得見込等 (取得予定の場合)	※新規敷地の取得は不要です。			

## (4) 計画建物

工事種別	新築・増築・ <u>改修</u> ・その他（ ）
概要	既存の病棟を拡張。2床室で運用の病室を4床室へ増床。また、ナースステーション、薬局、当直室を移動し、空いたスペースへ4床室を一部屋、2床室を二部屋にすることで計10床の増床とする。

## 病院整備計画申出者（法人名） 医療法人永仁会（入間ハート病院）

(5) 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	10	73	7.4	0	0	0
看護師	29	13	7.3	0	0	0
准看護師	2	6	1.9	0	0	0
看護補助者	7	5	1.5	0	0	0
理学療法士	4	0	0	0	0	0
言語聴覚士	0	0	0	0	0	0
作業療法士	2	0	0	0	0	0
その他	81	69	40.9	0	0	0
計	135	166	59.0	0	0	0

確保状況・確保策、確保スケジュール

現所属の職員数で全職種充足していますので、改めての確保予定はありません。
--------------------------------------

(6) スケジュール

No.	項目	計画年月	備考
1	開設（変更）許可（医療法）	令和7年11月	
2	建築（着工）	令和7年12月	
3	建築（竣工）	令和8年3月	
4	医療従事者の確保	年月	該当なし
5	使用許可（医療法）	令和8年4月	
6	開設（増床）	令和8年4月	

\* 計画年月の表記は「和暦」で記載すること。